

年末のごあいさつ



社団法人 電波産業会
事務局長 若尾 正義

本年も残すところわずかとなりましたが、会員の皆様方には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

本年も、会員のご協力及び総務省を始め関係各機関のご支援、ご協力のお陰を持ちまして、当会の諸事業を順調に遂行することができました。心から厚くお礼申し上げます。

さて、本年の当会の主な活動をご紹介しますと、

まず、調査研究につきましては、(1)IMT及びブロードバンドワイヤレスアクセスに関する調査研究を始め7件の調査研究、(2)次世代移動通信システムの周波数共用技術に関する調査検討等10件の電波有効利用試験研究及び(3)安全運転支援情報通信システム実用化のための調査及び検討等8件の受託調査を実施しております。研究開発につきましては、デジタル放送システムを始め4件の研究開発を実施しております。また、関係団体の要請により、電波環境協議会を始め13任意団体の事務局を担当しております。

次に、標準規格等の策定及び改定につきましては、規格会議を4回開催し、Mobile Broadband Wireless Access Systems など標準規格の策定5件、標準規格の改定26件、標準規格の廃止1件及び技術資料の改定17件を行いました。

次に、照会相談業務につきましては、(1)電気通信業務及び公共業務の電波の周波数を使用する固定局及び地球局を対象とした回線設計及び混信計算、(2)電波伝搬障害防止のための高層建築物と電波伝搬路の位置関係の計算等を実施しておりますが、本年1月から11月末までに1,299件の処理を行いました。また、M/Nバンドを使用する放送番組素材の中継を行う固定局（映像TSL）に関する照会相談業務を本年9月1日から開始しました。

次に、情報提供業務につきましては、平成5年8月から利用会員に有償で提供してきました電波有効利用情報の提供について、これを変更することとし、本年4月21日からは一般の利用者に対してもインターネットにより無償で提供することとしました。

次に、普及啓発業務につきましては、第19回「電波功績賞」を電波の有効かつ適正な利用に特別な功績を挙げられた個人2人と10団体に授与又は贈呈して表彰すると共に、ARIB機関誌を5回、ARIBニュースを49回発行し、会員

に配布しました。また、電波利用講演会を3回、電波利用懇話会を5回開催し、会員を始め電波関係者に電波の利用に関する情報の提供を行いました。次に、特定周波数変更対策業務につきましては、平成14年度から対策を実施してきましたが、現在、新たな地上デジタルテレビジョン中継局の開設に際し、地上アナログテレビジョン放送に混信等の影響を及ぼす場合の受信障害対策を実施しています。

以上述べましたように、本年の当会の諸事業は順調に遂行されましたが、明年も総務大臣指定の「電波有効利用促進センター」及び「指定周波数変更対策機関」として、新しい電波利用システムの研究開発業務、標準規格の策定業務、照会相談業務、情報提供業務、特定周波数変更対策業務の円滑な実施を最重点事項として、役職員一丸となって積極的に推進して参りたいと存じますので、本年と同様、ご支援ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、会員の皆様方、明年もますますご健勝でご発展されますようお願い申し上げます。年末のごあいさつといたします。

ARIBの動き

第66回電波利用懇話会を開催

12月16日に、当会の会議室において、第66回電波利用懇話会を開催しました。今回は、2009年1月1日に3年ぶりとなる「うるう秒」調整が行われることから、情報通信研究機構 光・時空標準グループの研究マネージャー今村國康様を講師にお迎えし、「2009年1月1日のうるう秒調整について」という演題でご講演をいただきました。

今回の調整では、2009年1月1日8時59分59秒と9時00分00秒の間に8時59分「60秒」のうるう秒が挿入されます。

今村様からは時刻の決め方の歴史、日本標準時の維持・配信業務の流れ、地球の自転と時刻への影響、うるう秒調整で想定される社会的影響等について、詳細にわかりやすく解説していただきました。

受講者の皆様には熱心に聴講をいただきました。



第66回電波利用懇話会の様子と今村研究マネージャー

第72回規格会議を開催

12月12日に、第72回規格会議を東海大学校友会館（霞が関ビル）において開催しました。

今回は、次に掲げる標準規格の改定⁵件、標準規格の廃止¹件及び技術資料の改定³件について審議され、すべて提案のとおり承認されました。

1 IMT-2000 DS-CDMA and TDD-CDMA System 標準規格及び技術資料の改定について

2 デジタル方式自動車電話システム標準規格の改定について

3 第二世代小電力データ通信システム/ワイヤレスLANシステム標準規格の改定について

4 狭域通信（DSRC）システム標準規格の改定について

5 CDMA Cellular System標準規格の廃止について

6 デジタル放送用受信装置標準規格（望ましい仕様）の改定について

7 地上デジタルテレビジョン放送運用規定技術資料の改定について

8 BS/広帯域CSデジタル放送運用規定技術資料の改定について



第72回規格会議の様子

今回の改定及び廃止の概要は次のとおりです。

1 IMT-2000 DS-CDMA and TDD-CDMA System 標準規格及び技術資料
(ARIB STD-T63 Ver.7.10及びARIB TR-T12 Ver.7.10)

2008年9月開催の3GPP TSG第41回会合において承認されたりリース99、リリース4、リリース5、リリース6、リリース7及びリリース8の仕様の追加又は修正を本標準規格及び技術資料に反映しました。

改定のポイントとして、リリース8に追加された技術資料TR 36.942 : Evolved Universal Terrestrial Radio Access (E-UTRA); Radio Frequency (RF) system scenariosを反映しました。本技術資料には、E-UTRAの運用環境を反映したシステムシナリオについて述べられており、併せて、物理層システムパラメータの決定において前提とされたデータがまとめられています。

また、リリース8において、High Speed Downlink Packet Access (HSDPA)の全体

仕様を規定する仕様書TS 25.308 : High Speed Downlink Packet Access (HSDPA); Overall description; Stage2に、Dual Cell HSDPA (FDD)通信手順の概略についての規定が追加されました。

その他、リリース7、リリース8を中心に、133件の仕様が修正されています。

2 デジタル方式自動車電話システム標準規格 (RCR STD-27 M版)

当該規格第1版に対してIPR確認書が5件提出されたため、追記しました。

また、L版からM版への改版に伴い、これまで「RCR STD-27 L準拠」としていたRev.拡張ビットのコードを、「RCR STD-27 L/M準拠」として再定義しました。

さらに、別表1、別表2及び5.1.4.4.9章の式番号における誤記を修正しました。

3 第二世代小電力データ通信システム/ワイヤレスLANシステム標準規格 (ARIB STD-T66 3.3版)

IPR確認書の提出内容に変更があったため、該当特許の特許出願人及び特許の係る範囲を修正し、一部工業所有権をリファレンスへ変更しました。

4 狭域通信 (DSRC) システム標準規格 (ARIB STD-T75 1.5版)

策定の際に提出されたIPR確認書の一部に、本標準規格への記載漏れがあったため、追加のための改定を行いました。

5 CDMA Cellular System標準規格 (ARIB STD-T53 Ver.6.5) 廃止

800MHz帯の周波数再編に伴い、STD-T64及びSTD-T53をまとめ、新たなARIB STD-T64として統合したことにより、ARIB STD-T53規格及び第53作業班を廃止することとしました。

なお、第6項以降の改定の概要は、次号で紹介の予定です。

編集後記

本号が今年最後のARIBニュースになります。

来年も企画国際部のメンバーがARIBニュースの編集を行っていきますので、よろしく願いいたします。

なお、当会の本年の業務は12月26日(金)で終了し、来年は1月5日(月)から業務を開始します。

皆様、どうぞ良いお年をお迎え下さい。

(編集子:PAO)